

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 15 日

事業所名 スマイルキッズ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			・密にならないように工夫しています	・活動内容によって部屋を別けています。
	2	職員の配置数は適切である	10			・基準以上の人員配置をしています	・急な利用にも対応できるようにしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	6	2	・手すりを設置	・必要性があればスロープ等の対応可能です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	2		・事業所内ミーティングは全員が参加できるようにシフト調整しています。	・いい事、問題点、気づいた事を出し合う場を設けて職員で参画を心掛けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			・アンケート結果を元に話し会いました。	・保護者の意向や意見を書いてもらえるよう声掛けしたいと思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			・えがお便り、ホームページにて公開しています	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	1		・第三者委員会での外部評価を頂いています。	・第三者より頂いた評価を業務改善に積極的に繋げていきたいです
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			・職員研修を積極的に行っています	・改善点として研修後振り返りやアウトプットできる時間の確保をしたいです。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1		・日ごろからニーズの確認しています	・計画書作成後職員全員が閲覧できるようファイリングして支援に活かせるようにしています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1		・職員全員が把握できるようにしています。	・アセスメントツールを活用して支援していることを、職員全員が周知できるようにしたいです。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10			・個別活動、集団活動、SSTを取り入れています。	・職員からの案は積極的に取り入れ、支援の可能性を広げていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			・天気や室内、屋外活動、状況に合わせて工夫しています。	・利用者や、保護者のニーズも活動内容に取り組みで工夫しています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1		・タイムスケジュールを作成し全員が把握出来るようにしています。	・連絡帳やホームページ等にて課題や活動内容をお知らせ出来るように工夫しています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10			・個別活動、集団活動、SSTを取り入れています。	・個々にあったプログラムを作成して細かい支援の工夫をしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10			・ミーティングを行い確認、申し送り行っています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	4		・ミーティングに参加できない職員にはlineで共有しています。	・後日確認できるよう記録日誌にて情報共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			・バイタルチェック表個別日誌に記入	・モニタリング会議や担当者会議等に活用しています
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	1		・定期的に行い計画見直しを行っています	・モニタリングにて、課題や、ニーズ、経過など支援内容の確認を行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9	1		・基本活動を意識して支援しています	・	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	10			・児童発達支援管 理責任者が参加し ています	・支援内容について細かく報告するように努 めています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	10			・学校と情報共有 がスムーズに行 えるよう体制を 取っています。	・情報共有がスムーズにできるよう、年度始めに 担任の先生や管理者と顔合わせをして います。 ・急な対応備えて担任の先生に連絡先名刺をお 配りしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	8	2			・現在医療ケアが必要な利用者はいません が受け入れる際は連携を行います
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	10			・情報共有をしつ かりと行っていま す。	・今後の支援に活かせるよう積極的に情報 交換しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	9	1		・該当する児童が いません。	・移行する場合は丁寧に情報共有してい きます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	9	1			・今年度は連携をとり行っていきたいです。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	8	2		・コロナ禍で出来 ませんでした	・予定は立てるのですが、コロナ禍で厳しく 計画断念。 今年度は積極的に取り込みたいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している			10		・協議会への参加ができていないので 参加できるように努めたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	10			・日ごろから相談 できる体制を取っ ています。	・日ごろから相談しやすい環境作り (電話・メール・送迎時など)
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	10			・外部講師をお招 きして保護者支援 を行っています。	・今後のペアトレや保護者会など積極的に取 り組んでいきたいです	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	10			・見学、契約時に 説明しています。	・今後も丁寧にわかりやすく説明できるよ う努めていきたいです。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	9	1		・気軽に相談でき るよう心掛けてい ます。	・必要に応じて各関係機関との橋渡し役を 行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	9	1		・今年は開催でき ました。	・今年度は積極的に開催して、保護者間の 連携に努めていきたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	9	1		・契約時苦情ボク ス設置、苦情窓口 について説明を 行っています。	・保護者には契約時だけではなく、個別支援計画 書読み合わせやモニタリング時 職員はミーティング等にて再度お知らせするよ うに務めて100%周知できるように務めたいです。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	10			・えがお便り、プロ グ、HP、SNSを活 用して報告してい ます。	・発信に際しても個人情報に気を付けていま す。(保護者確認しています)
	35	個人情報に十分注意している	10			・個人情報に関して 規定を決めていま す	・職員間で個人情報に関して規定の確認を 徹底しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	9	1		・特性にあわせたコ ミュニケーション方 法を意識しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	7	3		・コロナ禍で難し い。	・招いてのイベントは難しい為、デイサービスのお 年寄りとプレゼントの交換を行いました。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10			・契約時に説明、ホームページ等に掲載	・保護者、職員周知できるよう告知の工夫が必要です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			・定期的に行い記録に残しています	・災害時と合わせて、不審者対策も訓練に取り入れています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			・事業所内研修、外部研修を行っています。	・虐待防止委員会を設置して、適切な対応に努めています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10			・個別支援計画に記載して、保護者の方々へ丁寧に説明しています。	・身体拘束について職員で意識を高めて周知できるようにしていきたいです。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			・アレルギーの子はいませんが対応可能です。	・契約時アセスメントシートを作成し、確認しながら、アレルギー対応できるようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			・その都度経緯を詳しく記録に残します	・ヒヤリハット事例検討会をもち、職員間で共有、再発防止に努めています。